

音の果実

コンサート2008 秋 Music Fruits Concert 2008 Autumn

吉川真澄 (ソプラノ)、佐藤佳子 (ヴァイオラ)、藤田朗子 (ピアノ)

Masumi Yoshikawa (soprano), Yoshiko Sato (viola),

Akiko Fujita (piano)

その音ノ花に受粉したのは

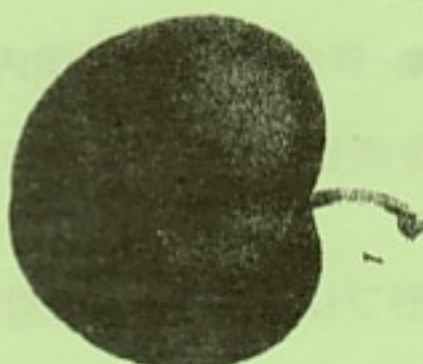
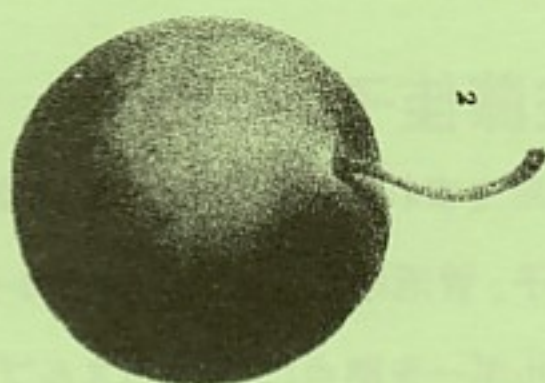
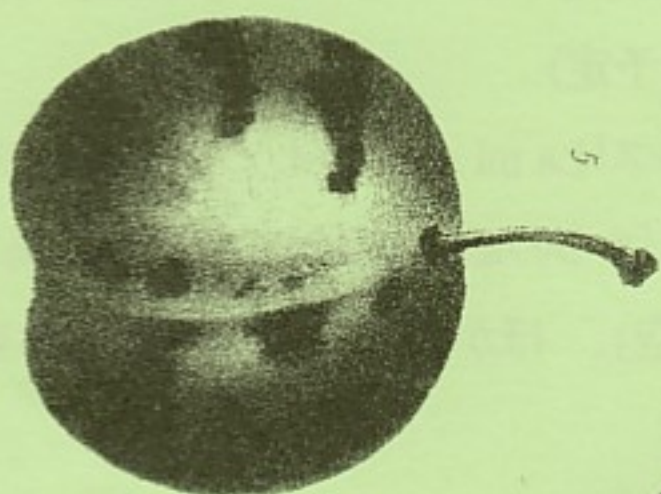
風か、鳥か、虫か、ヒトのしわざか？

ブラームス、シューマン、ラヴェルから

現代アジアの楽曲、武満徹のへうたVまで。

時空を超え、果実のようにみずみずしく、

芳醇な音の息吹がひびきあう。



十一月五日(水) 六時半開演

文翔館議場ホール

(山形県郷土館内)

山形市旅籠町三丁目4番51号 <http://www.yugakukan.or.jp/bunsyokan/>

文翔館裏に無料駐車場あり。満車の場合は近くの県営駐車場(有料)をご利用下さい。

入場料 (全席自由) 前売2,500円 前田2,800円 (半前売1,500円 前田1,700円)

問・予約 公演事務局 TEL 090-2435-1654 023-645-0373 e-mail: saitomo55@gmail.com



音の 果実

コンサート 2008 秋

Music Fruits Concert 2008 Autumn

11/5 (水) 6:30pm

(開場は30分前)

文翔館議場ホール

(山形県郷土館内、023-635-5500)

◎ 入場料(全席自由)

一般: 前売 ¥ 2,500 当日 ¥ 2,800

学生: 前売 ¥ 1,500 当日 ¥ 1,700

◎ 問・予約 公演事務局

TEL 090-2435-1654、023-645-0373

e-mail: saitomo55@gmail.com

音楽と社会をつなぐ寓意のようものを思案したとき、ふと果実のことが想い浮かんだ。

木や植物は、さまざまな手だてによって花に実を結ぶ。その多様な実のかたち、大きさ、色彩にくわえ、官能的な舌ざわり、甘みや酸味を含んだみずみずしい果汁。味覚はからだを一気に駆けぬけ、反響する。その体感はあきらかに主食と違い、脳と感覚器官、心を透明な波で浄化する。まるで日常のなかの音楽やうたのように。

たとえばラ・フランス。縄文の頃からこの国に自生する数少ない果実、和梨の端正さにたいして、少年の頃はじめて出会った洋梨は、まるで油彩洋画の裸婦像のようにずっしりとした奇妙な物体だった。しかし、その芳しい香りとまろやかな果肉の旨味は忘れられない官能や感動が――。果物は見た目やかたちではないのだ。すでに原産地のフランスでこの種は滅び、極東の島国の山形で繁殖した不思議があいまった。

今回、演奏に快く応じてくれた三人は、クラシックから今日生まれようとしている現代音楽まで、幅広い音楽への愛情と共感をもってめざましい活躍をみせる才媛。やや珍らかな編成となったのは、演奏する曲よりも、この友人たちの演奏を聴いてほしいと思う気持ちが優先された結果だ。洋の東西、時代をとわず、普遍的な旋律や響き、調和に溢れた曲とうたを演奏していただくことになった。

音楽と果実、それは似て非なるものか、とらえ方はまったく自由です。

変わらないのは、天然自然のままではあたらしい魅力的な音楽や果実は稔らなかった、という事実。木や植物が懸命に種子をとばす工夫をし、夢のような偶然や生き物、農民のいとなみが重なり、花は受粉と受精をとげ、実を結ぶ。一夜のコンサートじたいが、季節や自然、先人との協同の結果であり、立ち会う人の心のなかに未知の花を咲かせ、実をならず交響やハーモニーを奏でられたら。そんな出会いが、目に見えない一粒の種子として蒔かれ、この土地のあらたな痕跡となることをねがっています。(斎藤 朋)

◆PROGRAM(予定)

F. オブラドルス「La mi sola」、M. ラヴェル「水の戯れ」、R・シューマン「おとぎの絵本」、

J. ブラームス「2つの歌 作品91」、武満徹「鳥が道に降りてきた」、「死んだ男の残したものは」

「翼」「小さな空」、ほか ※当日、曲目は変更される場合があります。あらかじめご了承ください。



吉川真澄(ソプラノ)

岸和田生まれ。桐朋学園研究科声楽専攻修了。田中万美子、松本美和子、木村俊光、平山美智子の各氏に師事。これまでにオペラ「魔笛」「チェネントラ」、パッパ「ロ短調ミサ」、J.ウッド「浄土」のソプラノソロ、また「高橋アキピアノドラマティック2003」(共演:田中混)「アンサンブルノマド定期演奏会」「サントリーサマーフェスティバル」「21世紀の音楽地図」「吉川真澄・佐藤紀雄デュオコンサート」等に出演。歌曲、オペラ、現代音楽の幅広い分野で活躍している。平成16年度文化庁国内芸術インターシップ研修生。第7回松方ホール音楽大賞受賞。2009年、間宮芳生新作オペラへの出演を予定している。



佐藤佳子(ヴァイオリン)

広島生まれ。桐朋女子高等学校音楽科、桐朋学園大学音楽学部及びブリュッセル王立音楽院卒業。故数住岸子、辰巳明子、江戸純子、菅沼準二、セルジュ・コロ、ライナー・ホフマン、ポール・デュ・クレルク、ガース・ノックスの各氏に師事。2005年に帰国するまでベルギーを拠点にイクトゥス&プロメテウスアンサンブル、モネ王立オペラ劇場の公演に多数出演するなどヨーロッパを中心に活躍。広島市最優秀新人賞、キジアーナ名誉ディプロマ賞受賞。2004年度文化庁芸術家海外研修員。現在は関東、関西にてクラシックから現代音楽まで多岐に渡り活動している。秋吉台国際現代音楽セミナー講師。ネクスト・マッシュルーム・プロモーションメンバー。



藤田朗子(ピアノ)

東京芸術大学音楽学部器楽科(ピアノ専攻)、パリ国立高等音楽院伴奏科、同音楽院第三課程室内楽科を卒業。ピアノを中山ヒサ子、播本三恵子、倉沢仁子、辛島輝治、伴奏法を山洞智、Jean KOERNER、室内楽を Gerard BUQUET、Jens MacMANAMA の各氏に師事。ソロの他、ニース国際夏期講習会、パリオペラ座等で公式伴奏者をつとめ、パリ音楽院オーケストラ等でも鍵盤楽器奏者として活躍。室内楽・新曲初演などで国内外の演奏家と共演。またチューバ・セルパン奏者の橋本晋哉と「Duo Transpneuma」を結成。2003年より現代音楽セミナー「秋吉台の夏」、2004年現代音楽フェスティバル「A Tempo」(フランス)、2006年より軽井沢国際音楽祭に出演。

◎ ほかチケット取り扱い 山形プレイガイド、大沼山形本店、十字屋山形店、辻楽器店、富岡本店、八文字屋本店MUSIC STORE、TENDO八文字屋、ショッピングプラザカミン、大沼米沢店 ◎主催=音の果実2008 企画・制作=斎藤 朋 協力=楽天夢座 ほか